

## 4 ジェネリック医薬品の勧め方！【推奨事例】

ジェネリック医薬品の使用割合が高い薬局の具体事例を示します。患者さんの同意を得て、ジェネリック医薬品の使用を促進しましょう！

### オーソライズドジェネリックの積極採用

- オーソライズドジェネリックが発売された時に再度説明すると、変更を希望されることが多い。
- オーソライズドジェネリックがある場合は、オーソライズドジェネリックを切り口にして変更を勧めると、ジェネリック医薬品に対する意識が変わることがある。
- オーソライズドジェネリックについて詳しく説明することでジェネリックへの変更につながることもある。

### 製剤工夫をしたアドバンスドジェネリックを勧める

- 錠剤サイズの小型化やOD錠といった製剤工夫により薬が飲みやすくなっていることを説明し、ジェネリック医薬品の使用の理解を得た。
- 飲み込みが苦手な方に対し、後発だと液剤や口腔内崩壊錠があると説明し、ジェネリック医薬品の使用の理解を得た。



## 患者対応

- 効果がないと認識していたので、いつでも先発品にもどすことができると説明すると、ジェネリック医薬品を使用し、今も継続している。
- 一度変更を拒まれても、間隔をあけて二度三度説明することにより理解を得ることができる。
- 初回確認は無理をせず患者さんの意向を聞き、数ヶ月後に再確認したときに変更可になることが多い。
- 来局するたびにジェネリック医薬品に対する偏見を無くしていき、最終的に薬剤師との信頼関係からジェネリック医薬品に変更する事に理解を得た。
- その場で理解を得ることはほとんどない。時間をおいてから再度説明すると、迷っていた患者なら変更する場合がある。
- 1薬品をジェネリック医薬品へ変更すると他も変更しやすくなる。
- 数種類の先発品服用中の患者にまず、1種類をジェネリック医薬品へ変更してもらう。

## その他

- 値段が高いと言われる患者にはジェネリック医薬品に変更すると値段がどれだけ下がるかを提示することで、ジェネリック医薬品へ変更になった。
- 高額薬価の先発品で新たにジェネリック医薬品が出て負担金が減ることなど、具体的に先発品とジェネリック医薬品の窓口負担金を提示し理解が得られた。
- 国民健康保険制度を次世代に渡って存続させる為に、ジェネリック医薬品を使うことの意義を説明したところ、理解、賛同を得た。
- 自己負担の無い方に医療費削減に協力して欲しいとお願いする。